



センターだより

かわにし

「このくらい」と

思う油断が 事故を呼ぶ

(令和元年度 センター安全標語 最優秀賞)

編集
発行

公益社団法人 川西市シルバー人材センター

〒666-0017

川西市火打1丁目10番9号

TEL 072-758-6234

FAX 072-758-3679

<http://www.kawanishi-silver.or.jp/>



機械刈除草班



植木剪定班



手刈除草班

今年度も多くの市民の皆さまから、除草・植木剪定のご注文をいただいています。これらの業務は、技術や体力を必要とし、夏の暑さ対策などとても大変ですが、お客さまの喜ぶ顔を直接見ることができるやりがいのある仕事です。これから最も忙しいシーズンになりますので毎日頑張っています！

CONTENTS

令和元年度定時総会を開催	2
事務局の職員紹介	3
安全就業	4
講習会開催、同好会活動	5

生き生き健幸⑦	6
中期計画～チャレンジ&トライ～	7
事務局からのお知らせ	8

令和元年度 定時総会を開催

5月31日(金)に、アステ市民プラザ・アステホールで、令和元年度定時総会を開催しました(会員総数1,181名のうち、出席者53名、委任状696名、計749名)。

まず、数元雅信理事長が、「シルバー人材センターの喫緊の課題」として、事業実績の拡大と安全就業の2点をあげられ、それぞれの実態と対応について述べられました。

1点目の事業実績ですが、平成27年度までは、順調に事業実績は推移していましたが、ここ数年停滞しており、受注件数は、平成27年度は、^{3,268}件でしたが、平成30年度は、^{3,090}件と率にして、5.4%減少している状況です。また、事業実績額は平成27年度が4億^{3,020}万^{1,229}円に対して、平成30年度は4億^{1,840}万^{1,917}円と2.7%下落している状況です。

現在、第3次AI時代の到来の中、生活や仕事等のあらゆる分野においてAIの活用が進んでいます。技術や経験を必要とするマンパワーが必要とされている分野は多くあり、今後、シルバー人材センターの会員の力を必要とする新たな受注先の開拓と既存の受注先の掘り起こしを全職員が就業開拓員

という意識を持って取り組んでいく旨を伝えられました。

次に安全就業におきましては、昨年度の兵庫県下の事故発生件数は、東京都に続く全国ワースト2位となり、平成31年3月19日には、「兵庫県シルバー人材センター緊急重篤事故根絶宣言」が出され、事故撲滅に向けて注意喚起がなされました。今後、あらゆる機会を通じて更なる安全意識の向上をはかり無事故記録を更新していく決意を表明され、最後に、これからの季節、熱中症の心配や暑さにより注意力が散漫になりますので、くれぐれも安全就業に心がけるようお願いをし、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念していることを述べ、挨拶とされました。

続いて、来賓の越田謙治郎川西市長と大矢根秀明川西市議会議長からのご祝辞をいただき、来賓紹介の後、定時総会議長に会員上原功一(明峰班)さんが選出され、議事に入りました。

最初に、報告第1号「平成30年度事業報告について」で、受注件数で11%の減、事業実績で、0.1%の微減、就業延べ人員で、4.1%の

減の報告がなされ、報告第2号、「令和元年度事業計画及び収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの報告について」において、新たな就業開拓への取り組みを強化し、実績額の上昇に努めていくとともに、会員の安全安心な就業への改善を図っていくことの報告がなされました。

次に、議案第1号「平成30年度決算について」、議案第2号「令和元年度役員を選任について」、議案第3号「理事長に対する権限委任について」の提案説明が順次行われ、審議を経ていずれも原案どおり承認され、総会を終了しました。



開会の挨拶を行う数元理事長 (アステホール)

事務局の新しい職員を紹介します

センター事務局では、この4月に新しい職員を4名迎えました。皆様どうぞよろしく願います。

常務理事兼事務局長

中塚 直美

4月にシルバー人材センターの事務局長を拝命し、このたびの定時総会後の理事会でご承認いただき常務理事兼事務局長に就任させていただきました。中塚でございます。



国では、「一億総活躍社会」ということで、家庭や地域、職場など、あらゆる場で、誰もがいきいきと活躍できる社会の実現に向けて、様々な施策が展開されています。中でも人生100年時代を見据え労働力人口が年々減小している中、我が国の成長力を確保していくためには働く意欲のある高齢者に多様な働く機会を提供していくことが必要となっております。

当シルバー人材センターは、高齢者が就労を通じて、*健康づくり*仲間づくり*生きがいづくりを行い、地域社会の活性化に繋げていくという、役割を担っています。

今後、皆様とともに、諸事の課題を乗り越えながら、シルバー人材センターの発展のために努力して参りますので、どうかよろしく願います。

経営事業課(臨時職員)

公共担当 橋本 政彦

4月からセンターにお世話になっております。主に公民館、キャンプ場の管理、アステホール内の設営作業依頼などの連絡調整を担当しています。



会員の皆様方には、担当業務において、急なご依頼や変更などをお願いすることもありますが、いつもご協力をいただきありがとうございます。

経営事業課(臨時職員)

総務担当 奥野 宏美



4月より、総務・庶務の補助業務を担当させて頂いております。市民の方々と電話でお話する機会もございますので正確にわかりやすくお伝えできる様、精一杯努力して参りたいと思っております。まだまだ不慣れですがどうぞよろしく願います。

経営事業課(臨時職員)

家事援助担当

山蔭 富美代



4月からセンターでお世話になっております。主に家事援助や産後ヘルパーを担当させていただきます。皆様が、経験・知識・技能を活かし、楽しく、元気に、気持ちよく就業して頂けるよう努めてまいります。

不慣れではございますが、どうぞよろしく願います。



安全就業

平成30年度の安全状況及び令和元年度の「事業計画」に基づく、安全活動の概要をお知らせします。「事故ゼロ」を目指し、ご協力をお願いいたします。

平成30年度の安全状況

平成30年度 事故発生件数

傷害	7件
賠償	2件
合計	9件

平成30年度に発生した事故は請負事業、派遣事業合わせて9件で、傷害事故7件、賠償事故2件でした。傷害事故のうち5件は転倒等により骨折されており、足元や周囲の安全確認不足が原因と思われます。あらためて注意喚起し転倒事

故をふせいでいきましよう。また昨年度は、兵庫県下において重篤事故が多数発生し、上部団体の兵庫県シルバー人材センター協会は「緊急重篤事故根絶宣言」を表明し、当センターにおいても重篤事故の撲滅に向けて取り組んでいるところです。

「事故ゼロ」を目指し、「安全は何よりも優先する」を合言葉に、令和元年度も安全就業に努めましょう。

令和元年度事業計画概要

一、安全就業強化月間活動

全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）が、毎年7月に推進する『安全・適正就業強化月間』において、次の取り組みを実施します。

- ① 全国統一スローガンの掲示
- ② 安全委員による安全パトロールの実施

- ③ 安全就業標語の募集・掲示
- 二、安全で信頼されるシルバー組織の構築

- ① 全シ協及び兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）の指針に基づく、日常安全行動の強化
- ② 事故事例、安全情報の共有と再発防止の徹底

三、就業会員に対する安全指導の徹底

- ① 過去の事例を教訓に再発防止策徹底
- ② 「安全就業基準」に基づく安全就業の遵守徹底

四、センターだよりの活用

- ① 安全就業啓発記事による会員の安全意識の向上を図る
- ② 事故情報の掲載により安全意識と事故の再発防止に活かす

五、安全パトロールの実施

- ① 就業現場のパトロールを通じてコミュニケーションを図り安全就業の徹底と安全意識の向上を目指す

- ② 重大事故発生時は当該職群班の会員に対し事故の原因・対策など安全就業の再指導を行う

六、安全就業に関わる啓発活動の取り組み

- ① 兵シ協主催の安全就業推進員研修会に参加
- ② 安全適正ニュース・近隣シルバー安全情報・交通安全ニュース等の有効活用

七、講習会の実施

- ① 救命救急講習会の開催
- ② 交通安全講習会の開催

以上の事業計画に基づき、安全活動を推進します。

令和元年度安全委員会の構成委員

- 委員長 数元 雅信
- 委員 中塚 直美
- 委員 大野 宏彦
- 委員 田尻 博哉
- 委員 田浦 豊昭

(敬称略)

ハウスクリーニング講習会

〜家庭でできる掃除の
要点と実技〜

5月28日（火）シルバー人材センター2階研修室にて、株式会社ダスキンの講師の指導によるハウスクリーニング講習会を開催し18名の会員が参加しました。



家事援助や企業での清掃で就業をしている会員もおられ、専門的な質問も飛び交いました。また男性の参加者からもカビ取り剤の有効な使用方法

や、成分等の質問があったりとみなさん熱心に参加されました。



実演では「ワー」と歓声があがったり、「その商品名は？」などと質問があがったり盛り上がりました。



女性会員活躍中!!

今回は、洋裁同好会の会員のみなさんの活動をご紹介します。現在月2回程度、洋裁好きの会員さんが集まって活動しています。かばんやポーチ、洋服などいろいろな物をお互いに教えあいながら楽しく製作され活動しております。



現在、センターで仕事として受注している件数としては数多くありませんが、ご依頼いただいたお客様からは「喜びの声」をいただいております。今後この商品の良さをもっと多くの方にアピールできないかと検討しています。



その試みの一つとして、**令和元年8月26日(月)**の10時より、シルバー人材センター2階研修室にて、**展示販売会**を予定しています。会員の方だけでなく、ご家族、お友達もお越しいただけます。詳しくは事務局までお問い合わせください。



認知症予防のいろいろについて

認知症予防については研究が進んでいます。最近テレビ等で、「アミロイドβ蛋白」という言葉を聞かれたこともあると思います。脳の中ではアルツハイマー性の病変、すなわちアミロイドβ蛋白が蓄積した老人斑ができ、MRI等の病理像を見るとアルツハイマー病変だけれども、日常生活においては認知症の症状がなかった方が何人もおられたということが研究で分かってきました。つまり、アミロイドβの蓄積があっても、認知症症状の発症は予防できるかもしれないということです。

認知症予防としては、様々なことが言われています。若い青少年期のころには教育を受けて知識を広げることで、健康意識が高まることになると考えられています。中年期以降になると生活習慣病予防により、血管性認知症予防につながります。また、聴覚や嗅覚が低下してくることにに対しては適切に治療し、刺激を受けることやコミュニケーションがスムーズに進むことにより、活動が妨げられることを防ぎます。

予防的対応として脳や体に対してダメージを減らすことも重要です。ストレスが高いとストレスホルモンにさらされ、脳の記憶に関係する海馬がダメージを受けると言われています。ストレスをためないためには、運動や毎日の食事や休養でリラックスすることが効果的です。つまり、バランスよく栄養を摂り、運動により疲れた体を休養することが理想的で、そのうえで「生涯学習」が大切とされています。毎日の生活の中で人と会話し、新たなことを発見したり、気づきがある生活により、脳を活発に使うことで知的刺激を与え続けることが、認知症予防の一つになると考えられています。

生き活き 〓 健幸 〓

⑦

このシリーズは、川西市健康増進部 健幸政策課 (市保健センター内) との連携記事です。

- 知識・正しい理解 (認知症についての知識や理解。)
- 運動習慣 (体を動かすことや筋力アップを意識している。)
- 栄養バランス・お口の健康 (バランスの良い食事と痩せすぎに気をつけている。)
- 休息・リラックス・睡眠 (質の良い睡眠をとる。自分のストレス解消方法をもっている、みつける。)
- 生きがい・趣味・交流 (新しいことにチャレンジしてみる。社会とつながっている。困ったことも相談できるひとがいる)
- ダメージを減らす (かかりつけ医がある。禁煙や適量飲酒を意識している。)



☆1Point

ボールを押しつぶすとき、一緒に肛門も締めるように力を入れることで、尿失禁の予防・改善につながります。



②「1・2・3」で元の姿勢に戻し、「はい」で静止

①「1・2・3」で両膝頭をつけるようにボールを押しつぶし、「はい」で静止

【内ももの運動】
内転筋群を刺激する運動です。変形性股関節症や転倒予防、尿失禁の予防・改善にも効果的な運動です。

今日からできる
筋力維持&アップ体操をご紹介します。

転ばぬ先の

転倒予防体操



中期計画 チャレンジ & トライ

当センターでは、近年のシルバー人材センターを取りまく社会環境の変化等に的確に対応していくため、平成29年度から令和3年度の5年間の事業展開の指針となる「中期計画（生き生きセンターチャレンジプラン）」を策定しています。同計画には、センターの運営を計画的かつ着実に取り組んでいくための6項目の達成すべき目標と実現方策を掲げています。今号では、シリーズ⑦として、「積極的な広報・啓発活動の展開」について掲載します。

⑦積極的な広報・啓発活動の展開

■現状と課題

- 市民等は、シルバー人材センターの名前は知っていても、センター設立の趣旨や目的、利用や入会の方法などを知らないことも、多く見受けられます。
- シルバー事業に対する市民等の理解が深まることは、会員の増加や就業の拡大につながっていきます。
- 効果的な広報・啓発活動について、先進事例の調査・研究や市の関係所管の支援を得ながら、積極的に取り組んでいく必要があります。
- 地域貢献となるボランティア活動は、市民等からの信頼が高められる機会であること

から、より一層、効果的に企画・実践していくことが大切です。

■具体的な取り組み

- センター事業の周知を図るため、ホームページの適切な情報更新と、掲載内容の充実に取り組みます。
- 機関紙「センターだより」の紙面の充実を図り、センターと会員の意識の共有を図るとともに、公民館等の市公共施設にも配架依頼し、市民等へのPRに活用します。
- 会員の募集や仕事の内容などを掲載したチラシ等を毎年作成し、全戸配布を実施します。
- 市の関係所管の支援を得て、市広報誌に会員募集や仕事の内容の記事掲載、9月の「老人週間」等におけるセンター活動の特集記事の掲載等を協議していきます。
- 地域班等の協力のもと、ボランティア活動を計画的に推進し、市内各地域におけるセンターのPRと普及啓発活動を行います。



退任のご挨拶



前常務理事兼
事務局長
中西 成明

平成29年4月より約2年間、シルバー人材センターの主に事務局長として、お世話になりました。私が着任した平成29年度は、前年度より右肩上がりに増加していた会員数や事業実績が減少に転じていたことやプロパー職員も新たに2名の新人を迎え、事務局の体制も刷新されるなど、大きな転機を迎えていた時期であったと認識しております。

また、時期を同じく国の施策も「働き方改革」、「一億総活躍社会の実現」など高齢者の働く環境が大きく変化するものへと変わっていき、シルバー人材センターの役割も重要なものになってきております。

しかしながら、60歳代の新規加入者の激減、最低賃金の上昇や派遣事業への移行の増加など、シルバー人材センターの抱える課題は益々厳しいものとなってきています。

「自主・自立、共働・共助」のシルバーの理念を大切にして、こうした難局を乗り越え、多くの高齢者が生きがいを持って活躍できる場の創出を期待しています。

最後になりましたが、川西市シルバー人材センターの益々のご発展を祈念して、退任のあいさつとさせていただきます。

事務局からのお知らせ

講習会のご案内

講習会の申し込みは7月30日(火)から

センター事務局へ ☎(758)6234

▼救命救急

日時 10月18日(金)

午後1時～4時

場所 川西市消防本部
3階大会議室

講師 川西市南消防署救急救命士

定員 先着20名

▼毛筆筆耕

日時 11月1日(金)

8日(金)

15日(金)

午後1時～4時

場所 センター2階会議室

講師 古賀 七五三男 氏

内容 年賀状宛名書と文字の練習

定員 先着20名

ボランティア活動 参加者募集

皆さんご参加ください

日頃お世話になっている地域への貢献と、センター事業のPRを目的に、「清掃ボランティア活動」を実施します。

ふるってご参加ください。

場所: 川西能勢口駅周辺

集合: アステ川西歩行者デッキ
(阪急川西能勢口駅南側)

日時: 10月18日(金)
【雨天の時は21日(月)】
午前10時～12時

*参加希望者は、
10月4日(金)までに
センター事務局へ
☎(758)6234



令和元年度「安全標語」 入選作品の発表

令和元年度の安全就業標語を募集したところ、102点の応募がありました。審査の結果、次の5点を優秀作品として選取しました。(敬称略)

【最優秀賞】

◆「これくらい」と思う油断が
事故を呼ぶ
川尻 弘

【優秀賞】

◆無理をせず 心にゆとりの
安全作業
渡辺 満春

◆安全は みんなが主役の
合言葉
麻生 典雄

◆安全は 今日も明日も
明後日も
今仲 六男

◆急がずに 安全確認
もう一度
松永 徳一

夏の交通事故防止 運動が始まります!

7月15日(月)から24日(水)までの10日間「やさしさと笑顔で走る兵庫の道」をスローガンに夏の交通事故防止運動が実施されます。近年、高齢者の交通事故の多発が深刻な社会問題となっています。加齢による運転能力の低下は、誰もが避けて通ることの出来ない事象です。日頃からご自分の運転能力の把握に努め、安全運転に心がけましょう。

☆配分金の振込予定日のご案内☆ (8月就業月分～12月就業月分)

就業月	振込月日	備考
8月分	9月17日(火)	15日が日曜日 16日が祭日のため
9月分	10月15日(火)	
10月分	11月15日(金)	
11月分	12月16日(月)	15日が日曜日のため
12月分	1月16日(木)	年末年始休業のため

※なお派遣就業の方を除きます